

学生フォーミュラ会議 VISIONと今後の方針

VISION

1. 産学官民が連携し、自動車技術に関する実践的工学教育プログラムを提供することで、自動車産業を牽引する人材の継続的な育成・輩出に尽力する。
2. 社会／技術変化に対応し、クルマのFUN（楽しさ）復興を目指す。

今後の方針

● 社会／技術変化に即した最適な在り方

● クルマのFUN（楽しさ）復興

① 技術

- ①-1 EV領域の加速、自動運転/新たなFUN技術／リーディング技術の導入検討
- ①-2 軽量化等の車体含むチャレンジ(新素材、新構造など)

② 人材

- ②-1 新技術領域人材（エレクトロニクス／IT／社会科学など）への拡大
- ②-2 小学生～大学生連続一貫教育プログラムの検討
- ②-3 キャリア支援の強化
- ②-4 大学の授業／単位との連携強化検討


③ 大会運営

- ③-1 グローバル対応の進化（アジア→世界、英語化など）
- ③-2 認知度向上推進（多彩な観客／メディア訴求）
- ③-3 投入資源の最適化検討（人／金）
- ③-4 大会開催時期の検討
- ③-5 将来レギュレーション検討

④ 新価値創造

- ④-1 新価値創造につながるプログラムの検討（将来モビリティを支える技術と人の創造）

学生フォーミュラ会議 ロードマップ

	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
	<p>自動車産業を牽引する人材の継続的な育成・輩出に尽力するとともに 社会/技術変化に対応し、クルマのFUN(楽しさ)復興を目指す。</p> 						
①技術	<p>EV領域の加速(①-1) ・海外トップチームとの互角の性能 ・ICV同等の参加チーム数への拡大</p> <p>自動運転の導入検討(①-1) 新たなFUN技術/リーディング技術の導入検討(①-1) ※新教育プログラムとの協調 ・通信/IoT/AI/センサ/アクチュエータ/情報セキュリティー 等 検討</p> <p>軽量化等の車体含むチャレンジ(①-2) ・新素材、新構造 等 ・海外トップチームとの互角の性能を目指す</p>						
②人材	<p>新技術領域人材への拡大(②-1) ・エレクトロニクス/IT/社会科学系領域を含む競技内容の検討 ・AI, IoT等の領域を含む競技内容の検討</p> <p>小学生～大学生 連続一貫教育プログラム(②-2) ・小学生～高校生向け学生フォーミュラプログラムの検討 ※教育会議と連動して検討</p> <p>キャリア支援の強化(②-3) ・産学連携の検討</p> <p>大学の授業/単位との連携強化(②-4) ・大学への実践的工学教育プログラムとしての認知度向上 ・単位認定してもらえる競技内容の検討</p>						
③大会運営	<p>グローバル対応の進化(③-1) ・海外大会への参加支援要領の検討 ・公用語英語化推進</p> <p>認知度向上 推進(③-2) ・テレビ全国放送実現 ・多彩な観客/メディア訴求</p> <p>投入資源(人/金)の最適化(③-3) ・大会の赤字解消、大会運営の負荷低減の検討</p> <p>開催時期の検討(③-4) 将来レギュレーション検討(③-5) ・最適な開催時期の検討 ・技術領域変化に伴うレギュレーション提案</p>						
④新価値創造	<p>新価値創造につながるプログラムの検討(④-1) ※教育会議と連動して検討</p>						